

馬毛島への米軍使用を伴う自衛隊基地移転計画に断固、反対する

防衛省は、鹿児島県西之表市馬毛島に自衛隊基地を整備し、米軍空母艦載機の陸上離発着訓練（FCLP）を、東京都の硫黄島から移転させる計画を進めている。

西之表市は、8月31日に防衛省に対し、騒音の影響や交付金など市民生活へ大きく影響を及ぼす42項目について質問を行ったものの、不明点は払拭されないとして、八板俊輔西之表市長は、10月7日に反対を表明すると共に、日米地位協定の下では、米軍の行動に歯止めがかけられず、基地被害の拡大が懸念されると指摘したことは、地域住民を大きく勇気づけた。

日本の法律が適用されない低空飛行や民間空港の使用、飛行制限のない特権などが認められる「日米地位協定」の下、基地が移転されれば、FCLPだけにとどまらず、パラシュート訓練など内容を拡大する可能性も指摘されている。

人間の命と健康を守ることを最大の使命とする我々、医師・歯科医師は、今回の基地移転計画が、住民の生活を脅かし、命と健康を軽んずる暴挙と捉え、強く抗議するとともに、断固、反対する。

2020年10月22日
鹿児島県保険医協会
第7回定例理事会

**県保険医協が
基地反対声明**
鹿児島県保険医協会（高岡茂会長、1256人）は、西之表市馬毛島での米軍空母艦載機陸上離発着訓練（FCLP）移転を伴う自衛隊基地整備計画について「断固、反対する」との声明を出した。23日、首相官邸や防衛省、関係自治体、県関係国会議員にファクスなどで送った。声明では、日本の法律が適用されない低空飛行や民間空港の使用などが認められる「日米地位協定」の下で基地が移転されれば、FCLPにとどまらず米軍の訓練が拡大する可

2020年10月24日付 南日本新聞

能性が指摘されていると懸念。「計画は住民の生活を脅かし、命と健康を軽んずる暴挙」と指摘した。（園田尚志）